

gds

GLOBAL  
DESTINATION  
FOR  
SHOES &  
ACCESSORIES

[www.gds-online.com](http://www.gds-online.com)

## MDJ ファイナル・レポート

### GDS 2017 winter

国際シュー & アクセサリーフェア

tag it!

THE PRIVATE LABEL SHOW

[www.tag-it-show.com](http://www.tag-it-show.com)

2017年2月10日

## 靴・皮革産業、GDS に別れ

2017年2月7日～9日、GDSの最終回がデュッセルドルフ見本市会場にて行われた。これは、1955年のスタートから、第123回目を数えるものだ。そして、会期初日・火曜日の昼に、明らかとなったことがある。それは、主催者ならびに開催場所が変わるだけではなく、メッセの名称も変更になることだ。靴・皮革産業を対象としたメッセは、IGEDO社が主催し、Gallery SHOESとして Areal Böhler にて今夏から開催される。

GDS 会期初日の夕方、いわゆる『バトンタッチ・イベント』が、デュッセルドルフ市内の Areal Böhler という会場で行われた。多くの業界関係者を前に、メッセ・デュッセルドルフ代表取締役社長 W. M. ドーンシャイトは、多大なる支援を頂戴してきた出展・来場者、関係各所、そして GDS チームの努力に対し、感謝の意を伝えた。『キルスティン・ドイテルモーザーとそのチームは、長年にわたり類まれなる努力を重ね、靴業界を代表する GDS に対し、絶えずイノベーションを導入してきた。そして最終回においても、あらゆる面でプロ意識を発揮し、来場者にマーケットの全体像を包括的に提供した。私の感謝は、もちろん業界関係者にも向けられて



ている。関連業界から惜しめない支援をいただいたからこそ、GDS は数十年にわたり、特別なミーティングポイントとしての役割を果たすことができた。今夏から、新たなコンセプトで引き継ぐ IGEDO 社の成功を、心より願っている。』

GDS + tag it! 統括部長キルスティン・ドイテルモーザーは、会期初日に行われたプレス発表において、GDSの長い伝統と、靴業界に巻き起こっている根本的な変化について触れた。『2000年頃、GDSは最も多くの来場者を迎えた。バイヤーら

  
Messe  
Düsseldorf  
Japan



は、新コレクション・ブランドを見出すため、そして人脈の拡充を目的に、デュッセルドルフへとやってきた。しかし、この数年間で、新規参入や小売環境の変化など、世界はより速く回りはじめた。そして、メッセは常に市場の今を映す鏡であるため、靴業界のこのダイナミックな変容が、GDS にも影響を与えた。そのような中で、GDS 自身の歴史は、利点というよりも、重責や義務となってきた。事実、GDS がどう変わろうとも、最

も成功した時と比較され、最新回の満足度が量られるようになった。このような現状を鑑み、今こそプロジェクトを刷新すべき時だ、という結論に至った。何か新しいことを創造するには、既存の構造や伝統から解き放たれなければならない。そのため、今回の GDS 終了後、全く異なった構造とメッセージで新たなスタートが切れるよう、靴業界のメッセを IGEDO 社へ引き継ぐこととした。長年にわたり私どもとともに歩み、たゆまずご支援してくださった出展・来場者、そして多くのパートナー企業・団体の皆さま、ならびに、弊社のすばらしいチームに感謝申し上げたい。新たなビジネスの場を提供される IGEDO 社、そして担当されるウルリケ・ケーラー女史のご成功を心より祈念している。そして何よりも、新たにスタートする靴メッセを、業界が最大限に活用して下さることを願ってやまない。』

## GDS の最終回は、これまでと変わらず多彩なプログラムを展開

最終回の GDS には 600 ブランドが集結、2017/2018 秋冬シーズンの新コレクションやトレンドを発信した。そして、『GDS Trend Talks』、『Trend Codes』、ならびに『Trend Spots』では、仕入れや販売方法に対する具体的なサービスが提供された。

次秋冬シーズンで特に注目されたのは、しっかりした靴ひものブーツとバイカー・ブーツだった。また、天候がよい日にストリートファッションを彩るであろうトレンドとして、真っ白あるいはプリント柄の未来派スニーカーに、関心が集まった。

オランダに本拠をおくイノベーション・教育研究所 (SLEM) の講演は、デザインよりも製造についての内容が多かった。参加者は、どの技術が靴製造の未来を変えることになるのか、を学んだ。

伝説の名優アラン・ドロンのご子息、アラン＝ファビアン・ドロン (22 歳) 氏が、プレス・ウォークに参加した。STUDIO ホールにて、最新のメンズモデルを手取るたびに、フラッシュの嵐が巻き起こった。また、展示にとどまらず、ファッションショーやダンスパフォーマンスで、最新モデルを積極的に紹介する、出展者も見られた。



ファッションブロガーをはじめ、靴・ファッションに影響力をもつ人々は、最新のシューズトレンドを、ソーシャルメディアでシェアしていた。『Social Media Consulting』では、ソーシャルメディアがどのように機能するのかについて、関心を持つリテラーやメーカーに対し、より詳しい解説がなされた。

GDS + tag it! チームからのお別れの言葉は、[こちら](#)をご参照ください

GDS + tag it! は今回で終了し、次回以降は、名称を《Gallery SHOES》として、主催者・開催場所・メッセコンセプトも新たにスタートする。その記念すべき第1回目は、2017年8月27日(日)～29日(火)に、デュッセルドルフ市内のイベント会場《Areal Böhler》で開催される。また、2018年については、3月11日～13日、そして9月2日～4日に予定されていることが、すでに発表されている。同メッセに関する詳細は、<http://gallery-shoes.com/> をご覧いただきたい。

この変更に伴い、弊社(株)メッセ・デュッセルドルフ・ジャパンも、GDS + tag it! の終了をもって、日本での担当を終えます。《Gallery SHOES》へのご出展ならびにご来場に関するお問い合わせにつきましては、お手数ですがドイツにて同メッセを担当するウルリケ・ケーラー女史(Ms. Ulrike Köhler / [KAEHLER@IGEDO.COM](mailto:KAEHLER@IGEDO.COM))へ、直接ご連絡下さいますよう、ご理解のほど、なにとぞよろしくお願い申し上げます。



(株)メッセ・デュッセルドルフ・ジャパン

担当：橋木 雅弘

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町 4-1

TEL.: 03-5210-9951

ニューオータニ ガーデンコート 7F

FAX: 03-5210-9959

